

日本国川崎市とドイツ・マーティンスリード・Bio^M Biotech Cluster Development GmbH (Bio^M)との経済交流に関する覚書

日本国川崎市とBio^Mは、健康・医療・福祉分野における経済交流を推進することを目的として、川崎市とバイエルン州のバイオテクノロジー・ネットワークの産業間及び産学間の連携を促進するために本覚書を締結する。

1. パートナーシップ

川崎市

川崎市は日本の中で最も活力のある大都市の1つで、日本経済をけん引してきた京浜臨海部の中心にある都市である。

世界の経済・産業の構造の変化に合わせてイノベーション拠点の形成に注力しており、ライフサイエンス分野を中心に、世界最高水準の研究開発から新産業を創出するオープンイノベーション拠点「キングスカイフロント」の拠点形成を進め、健康・医療・福祉、環境などの分野で、イノベーションを通じて世界が直面している課題の解決に貢献するとともに、この分野でのグローバルビジネスを生み出すことを目指している。

Bio^M

Bio^Mはドイツ連邦共和国バイエルン州で、バイエルン州のバイオテック・ネットワークとミュンヘンのバイオテック・クラスターを管理する公的資金を受けた非営利組織である。ミュンヘンのバイオテック・クラスターは連邦政府から私費(個人負担)医療における”先端クラスター”に選出されている。Bio^Mは革新的な中小企業による製薬バイオテクノロジーの製品やサービスに重点を置いており、研究機関や他のテクノロジークラスター(例、医療機器)と密接に連携している。

2. 趣旨

両者は、本覚書が両者の共通の理解を提示し、署名された時点から有効期間を通して双方が遵守することに同意するものとする。この覚書は、両者に法的関係や法的義務を創出するものではない。

3. 期間

本覚書は両者の署名により有効となり、有効期間は2年間である。

4. 協定の目的

本覚書は両者の協力により以下を計画している。

- バイエルン州におけるライフサイエンス企業の川崎への進出拠点を確立し、同様に、川崎市におけるライフサイエンス企業のバイエルン州への進出拠点を確立する。
- 今後の特定分野における具体的な協定のための一般的な枠組みを確立する。
- 両者の協定を発展させ、共同開発プロジェクトを促進する。

- 相手地域の企業に有益な強固で長期にわたる関係を構築する。
- 成功事例に関する分野毎の知識や意見を交換する。

上記の目的を達成するために、以下について同意する。

- 両者はさらなる協力の機会を検討する。
- 両地域における他の機関も関与することができる。
- 両者は相手方地域における進展やビジネスチャンスについての最新情報を相互に交換し、新規企業や提携の機会について定期的に最新情報を提供することに同意する。
- Bio^Mは川崎市に、川崎市はBio^Mに、具体的な業務(例:特定の企業の市場参入や連携への関心等)を依頼するために直接連絡することができる。
- 両者は少なくとも年に1回、BIO-EuropeやBioJapan等で面談を行うことを目標とする。
- 両者は本覚書に基づいて定期的に連携の機会を検討する。
- 両者は各々のホームページで相手方のロゴを用いてパートナー地域の宣伝を行うことに同意する。
- 中小企業の市場参入を相互に促進する。
- それぞれのバイオテクノロジー/医療技術関連のイベントや任務を促進する。
- 各地域において企業と関係者間の技術交流を開始する。
- 互いの地域で企業を立ち上げる際のプロセスおよび技術面の情報や、ネットワーキング、技術交流、プロジェクト構築、特定の規制や現地の市場に関する情報を交換する。

5. 協定の終了

両者は60日前の書面の通知によっていつでも本覚書を解約することができる。進行中の活動は個々の状況に応じて判断される。

6. 修正規定

両者は書面での合意に至れば本覚書に変更・修正を加えることができる。

7. 言語

本覚書は英語で設定され、英語版のみが有効である。

8. コミュニケーション

両者は各地域において本覚書の推進に努め、関連領域において共通の構想を実現するための手段として関連機関に情報を伝達し、関与を促すことを誓約する。

署名日 2017年11月24日

Mr. Norihiko Fukuda
Mayor of Kawasaki

Prof. Dr. Horst Domdey
CEO, Bio^M Biotech Cluster Development GmbH